

G X 形への完全移行についてのお知らせ

平成 24 年 4 月 1 日付の自己施行の手引き【平成 24 年度版】にて記載していますが、**平成 25 年 4 月 1 日以降**に受理するものについては、布設する水道管は**ダクタイル 鑄鉄管 G X 形**となります。

設計及び施工の際、以下の点に注意してください。

1 管種及び切管の施工について

- ① G X 形管の管種は S 種管を標準とする。
- ② 切管施工の場合は、P-Link 及び G-Link を使用する。
(溝切加工による挿口加工はしないこと。)

2 仕切弁について

- ① G X 形ソフトシール仕切弁を使用する。
(泥吐弁についても同様とする。)

3 不断水連絡工について

- ① 既設本管が耐震管 (S II 形, N S 形等) の場合は、耐震型又は免震型不断水割 T 字管にて分岐とする。
(耐震型不断水割 T 字管の使用を推奨とする。)
- ② 既設本管との接続方法は別表の通りとする。
- ③ 継輪は必要に応じて設置するものとする。

新設管(GX形)と既設管との接続方法(不断水部)

既設管種	口径	土被り	配管形状		配管図	
			①	②		
VP HIVP	φ50	1.2m 以上	①	不断水割T字管(フランジ)		
			②	VC短管1号		
			③	HIVP		
			④	VCジョイント片落管		
			⑤	K形曲管(Sベンド)		
			⑥	乙切管(K-GX)		
			⑦	GX形継輪(G-Link)		
	φ75 以上	1.2m 以上	①	不断水割T字管(フランジ)		
			②	K形短管1号		
			③	K形曲管(Sベンド)		
④			乙切管(K-GX)			
⑤			GX形継輪(G-Link)			
DIP	1.2m 以上	1.2m 以上	①	不断水割T字管(フランジ)		
			②	K形短管1号		
			③	K形曲管(Sベンド)		
			④	乙切管(K-GX)		
			⑤	GX形継輪(G-Link)		
		1.2m 以上	1.2m 以上	①	不断水割T字管(フランジ)	
				②	GX形短管1号	
				③	GX形曲管(Sベンド)	
				④	乙切管(G-GX)	
				⑤	GX形継輪(G-Link)	
	0.9m	0.9m	0.9m	①	不断水割T字管(フランジ)	
				②	K形短管1号	
				③	乙切管(K-GX)	
				④	GX形継輪(G-Link)	
0.9m		0.9m	0.9m	①	不断水割T字管(フランジ)	
				②	GX形短管1号	
				③	乙切管(G-GX)	
				④	GX形継輪(G-Link)	

※継輪は必要に応じて設置するものとする。

新設管(GX形)と既設管との接続方法(不断水部)

既設管種	土被り	配管形状	配管図	
DIP (耐震管)	1.2m 以上	① 不断水割T字管(耐震型)		※推奨
		② G-Link		
		③ GX形曲管(Sバンド)		
		④ 甲切管(GX形)		
		⑤ GX形継輪(G-Link)		
	1.2m 以上	① 不断水割T字管(免震型)		※推奨
		② GX形短管1号		
		③ GX形曲管(Sバンド)		
		④ 乙切管(G-GX)		
		⑤ GX形継輪(G-Link)		
	0.9m	① 不断水割T字管(耐震型)		※推奨
		② P-Link		
		③ 甲切管(GX形)		
		④ GX形継輪(G-Link)		
0.9m		① 不断水割T字管(免震型)		
		② GX形短管1号		
		③ 乙切管(G-GX)		
		④ GX形継輪(G-Link)		

※継輪は必要に応じて設置するものとする。